

第3号様式

(第1面)

事業活動地球温暖化対策結果報告書

(あて先) 川崎市長

郵便番号 〒210-0867
 住 所 神奈川県川崎市川崎区扇町9番1号
 氏 名 三井埠頭株式会社
 代表取締役社長 田原 義朗 印

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

川崎市地球温暖化対策の推進に関する条例第10条第1項の規定により、次のとおり提出します。

事業者の氏名 又は名称	三井埠頭株式会社		
主たる事務所 又は事業所の所在地	川崎市川崎区扇町9番1号		
該当する事業者 の要件	<input checked="" type="checkbox"/> 規則第4条第1号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第2号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第3号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第4号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 上記以外の事業者 (任意提出事業者)		
主たる事業 の業種	大分類	H	運輸業, 郵便業
	中分類	48	運輸に附帯するサービス業
主たる事業 の内容	港湾運送業		
事業者の規模	<input checked="" type="checkbox"/> 原油換算エネルギー使用量	2,528	k l
	<input type="checkbox"/> 自動車の台数		台
	<input type="checkbox"/> エネルギー起源の二酸化炭素 以外の温室効果ガスの排出の量		t -CO ₂
連絡先	担当部署	担当部署名	
		所在地	
		電話番号	
		FAX番号	
		メールアドレス	
※受付欄		※特記事項	※事業者番号

(第2面)

計画期間及び報告年度	平成 28年度 ~ 平成 30年度 (報告年度 平成29年度分)
温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成状況及び温室効果ガスの排出の量	別添 指針様式第2号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の実施状況	別添 指針様式第2号のとおり
他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置の実施状況	別添 指針様式第2号のとおり
その他地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項	別添 指針様式第2号のとおり
備 考	

- 備考 1 欄内にすべてを記載できない場合は、別紙により提出してください。
2 □のある欄は、該当する□内にレ印を記載してください。
3 報告書には、事業活動地球温暖化対策指針に定める資料を添付してください。
4 ※印の欄は記入しないでください。
5 氏名 (法人にあっては、その代表者) を記載し、押印することに代えて、本人 (法人にあっては、その代表者) が署名することができます。

事業活動地球温暖化対策結果報告

1 温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成状況（第1号、第2号、第4号該当者等）

(1) 温室効果ガスの排出の量の状況（排出係数固定）

ア 計画期間の温室効果ガスの排出の量

	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	目標排出量
排出量	(実) 5,752 t-CO ₂ (調) 5,715 t-CO ₂	(実) 5,845 t-CO ₂ (調) 5,809 t-CO ₂	(実) 6,117 t-CO ₂ (調) 6,083 t-CO ₂	(実) t-CO ₂ (調) t-CO ₂	(実) 5,580 t-CO ₂ (調) t-CO ₂
削減率		(実) -1.6 % (調) -1.6 %	(実) -6.3 % (調) -6.4 %	(実) % (調) %	(実) 3.0 % (調) %

イ 計画期間の温室効果ガスの排出の量に係る原単位等の値

原単位の 活動量	総取扱量		単位	t-CO ₂ /千t	
	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	目標年度の値
排出量 原単位等の値	1.274	1.336	1.267		1.236
削減率		-4.9 %	0.5 %	%	3.0 %

ウ 計画期間の温室効果ガスの排出の量の状況についての説明

第1年度	総取扱量が約3%減少したのに対し、排出量は基準年度に比べて1.6%増加した。 また原単位に関しては4.8%の増加となった。 原因として、貨物の横持作業の増加により軽油の使用量が増加した為。
第2年度	基準年度に比べて総取扱量が約8%増加した為、排出量は6.3%増加した。 但し、原単位に関しては基準年度に対して0.5%の削減した。
第3年度	

(2) 温室効果ガスの排出の量の状況（全社目標）

--

3 温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成するための措置の実施状況

(1) 温室効果ガスの排出の量の削減のための措置の実施状況

事業所等 (第1号、第2号、第4号該当者等)	計 画	1) 温室効果ガス排出削減推進対策体制の整備 2) 設備保全体制の整備 3) 高効率機器への設備の更新の推進 4) 使用重機のハイブリット化推進 5) 重機使用時のアイドリングストップ徹底等省エネ運転の励行 6) 倉庫運用方法の見直し(統廃合)
	第1年度	1) 温室効果ガス排出削減推進対策体制の整備 平成29年度も継続実施 3) 高効率機器への設備の更新の推進 一部トップランナー機器への導入 6) 倉庫運用方法の見直し(統廃合) 総合現場事務所の解体 平成29年度も継続実施
	第2年度	1) 温室効果ガス排出削減推進対策体制の整備 平成30年度も継続実施 6) 倉庫運用方法の見直し(統廃合) D-1, 2倉庫の運用停止(次年度解体) 平成30年度も継続実施
	第3年度	
自動車等 (第3号該当者等)	計 画	
	第1年度	
	第2年度	
	第3年度	

4 他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置の実施状況

計 画	特になし
第1年度	特になし
第2年度	特になし
第3年度	

5 その他地球温暖化対策の推進への貢献の実施状況

計 画	1. グリーン購入の推進を行う。 2. 廃棄物の減量化、分別化の推進を図る。
第1年度	特になし
第2年度	特になし
第3年度	

6 前年度の温室効果ガスの排出の量等の実績（排出係数反映）

(1) 事業者単位

ア 第1号、第2号、第4号該当者等

(実)	6,046	t-CO ₂
(調)	6,001	

イ 第3号該当者等

(実)		t-CO ₂
(調)		

(2) 事業所等单位（第1号、第2号該当者等）

ア 年間の原油換算エネルギー使用量が1,500kl以上の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
三井埠頭株式会社	川崎市川崎区扇町9番1号	4811	港湾運送業	6,046 t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂

イ 年間の原油換算エネルギー使用量が原油換算で500kl以上1,500kl未満の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
				t-CO ₂

ウ 年間の原油換算エネルギー使用量が原油換算で500kl未満の事業所の一覧

エネルギー使用量の規模	事業所数
400～500kl 未満	
300～400kl 未満	
200～300kl 未満	
100～200kl 未満	
100kl 未満	

(3) 事業所等单位（第4号該当者等）

ア 物質ごとの年間の温室効果ガスの排出の量（二酸化炭素換算）が3,000t以上（二酸化炭素の場合はエネルギー使用に伴い排出したものを除く。）の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
				t-CO ₂

イ 物質ごとの年間の温室効果ガスの排出の量（二酸化炭素換算）が3,000t未満（二酸化炭素の場合はエネルギー使用に伴い排出したものを除く。）の事業所の数

事業所数	
------	--